

<p>企画名</p>	<p align="center">船上講座『手賀沼よ、干拓前によみがえれ!』 プラス 杉村楚人冠記念館見学</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 流山市立博物館友の会 問合せ先 小島 隆 TEL: 04-7146-7203 Email: tony.kojima@fg7.so-net.ne.jp ホームページ: http://hakubutukan-tomonokai.blogspot.jp/</p>
<p>目的</p>	<p>大堀川は流山市美田付近に源を発し、柏市を經由して手賀沼へと注がれています。今回の船上 講座を通じて手賀沼の現状と干拓の歴史などについて流山市民に知っていただきます。</p>
<p>日時</p>	<p>2024年10月23日(水) 9:30~12:30</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>9:30 我孫子駅改札口に集合 - 徒歩 - 9:50 湖上園着 10:00 遊覧船(湖上園ひかり2号)にて出航 船上講座(講師:前流山市立博物館友の会会長 竹島 盤氏) 11:00 湖上園で下船 - 徒歩 - 11:15 杉村楚人冠記念館着 学芸員による見学 12:30 楚人冠記念館にて解散</p>
<p>参加対象</p>	<p>流山市民</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加22名(大人22名)、スタッフ5名(会員4名、講師1名) 計27名</p>
 <p>立った姿勢で熱く語る講師</p>	 <p>ハケの道の天神坂前で</p>
 <p>記念館(母屋)の歴史を解説する学芸員</p>	 <p>母屋の書斎室で</p>
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>参加者22名の内、19名からアンケートをいただきその一部を紹介します。 ◆レジュメに沿って説明して頂いたのが分かり易かった◆手賀沼の大きさを実感できました◆10年前船上講座を受講しました。その時はハスの群が見られましたが、今回は外来水生植物の刈り取りが見られ水質にも関係していると感じました◆手賀沼の historical な経過が分かった。そして、現在の手賀沼が如何にこの周辺にとって大切な自然であるかが実感できた。只、もっと手賀沼とその周辺都市水系との関係をクリアーに知りたくなかった。青木先生に感謝いたします◆初めての見学だったので大変意義深かったです◆手賀沼の水質が良くなっていることが良くわかった。ハスのことは残念である。資料が充実していて良かった◆船上での講座は気分が変わって楽しかったです。楚人冠記念館の方もとても親切で丁寧に説明していただきました。</p>

企画名	手賀沼自由研究！～手賀沼水質調査体験と船上見学会～
実施団体	団体名 NPO 法人せつけんの街松戸 問合せ先 川野 美津子 TEL:090-3477-4523
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市内の手賀沼に流入する地域を中心とした排水や河川の状況を知ってもらう。 ・手賀沼船上見学を通して、手賀沼や生き物などに関心を持つ人を広げる。
日時	2024年7月27日（土）8:50～16:15
プログラム・概要・ルート等	08:50 松戸市民劇場前集合 ・出発（バス移動） 10:30～11:30 遊覧船乗船（生物の観察、手賀沼中央で試料採取） 12:00～13:15 手賀沼にて昼食休憩（各自ご用意） 13:15～14:15 手賀沼親水広場水の館3階研修室にて講義及び実習 （水質検査の概要、CODのパックテスト実施） 15:00～15:30 大津川で河川見学及び水質検査（試料採取） （鎌ヶ谷市北部公民館） 15:40～15:55 イベント総括（生活について） 16:15 松戸市民劇場前着、順次解散
参加対象	松戸市民（小学生以下は保護者同伴）
参加人数	一般参加 23名（大人13名、幼児1名、小学9名） 会員スタッフ 4名（会員 1名、環境保全課3名）



遊覧船の様子

遊覧船から見える景色をみんなで見えています。



講義の様子

水質検査の講義を聞いています。



大津川見学風景

みんなが見ている先には大津川が流れています。



実習の様子

CODをパックテストで測っています。

参加者や実施団体の感想	参加者アンケートより <ul style="list-style-type: none"> ・水質の調べ方、結果などわかりやすく楽しく体験できた。勉強になった。 ・遊覧船からのガイドがとて面白い経験になった。 ・手賀沼についていろいろな知識を得ることができた。 ・浄水場や下水道処理場のことと合わせてさらに調べていきたい。
-------------	---

企画名	手賀沼をもっと知ろう！～パネル展示と水質調査実演体験～
実施団体	団体名 NPO 法人せっけんの街松戸 問合せ先 川野 美津子 TEL:090-3477-4523
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市民へ手賀沼をはじめとした河川や水質の役割を知ってもらう ・松戸市民へ水質を身近に感じてもらう
日時	2025年1月6日（月）～1月17日（金）
プログラム・概要・ルート等	<p>松戸市河川水質啓発パネル及び手賀沼流域フォーラムパネル展示及び実行委員等によるパックテスト実演と参加者のパックテスト体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展示 期間中松戸市役所連絡通路に展示 ・パックテスト実演及び体験 1月6, 7, 9, 14日、各14:00～15:00
参加対象	松戸市民及び松戸市役所利用者
参加人数	<p>パネル展示 一般参加 約1万2000名（市役所来訪者） 実演体験 一般参加 39名（大人29名、幼児1名、小学9名） スタッフ 6名（会員1名、環境保全課5名）</p>

パネル展示

松戸市関連の河川と水質検査に関するパネルを展示しています。



全景



実演体験

CODをパックテストで測っています。



実演体験

CODをパックテストで測り、日常生活との関連を説明しています。



参加者や実施団体の感想

- ・普段これくらいと思っているでも自然には大きな影響があることを知り、気を付けたいと思った。
- ・子どもたちにも勉強になると思う。夏休みにもやってほしい。
- ・松戸市も手賀沼とつながっていることを初めて知った。
- ・別の用事で立ち寄ったが、水質のことを知れてよかった。

<p>企画名</p>	<p>大津川には何がすんでいるのかな</p>	
<p>実施団体</p>	<p>団体名 鎌ヶ谷・大津川を清流にする会 問合せ先 代表 井上 毅 TEL:080-6520-3118</p>	
<p>目的</p>	<p>大津川にすむ生物を講義や観察を通して学び、身近な自然への関心を高める。</p>	
<p>日時</p>	<p>2024年10月20日(日) 9:30~11:15</p>	
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>9:00 スタッフ集合(北部公民館視聴覚室) 9:30 参加者集合 主催者挨拶 講師紹介 講師 金子謙一氏(市川市立市川自然博物館学芸員) 9:40 講座開始 (1) 外来種のカダヤシとメダカの違いなど、わかりやすく解説。 (2) 事前に川で捕獲していたカダヤシ、アメリカザリガニ等を水槽に入れて展示し、ザリガニは手で触れてもらった。参加者は興味津々の様子だった。 10:10 母路橋方向へ移動 (1) 緑道沿いの植物(セイタカアワダチソウ、オギ、ススキ、ヨシ等)、またアゲハチョウやモズなどの解説を聞きながら移動。 (2) 主催者より大津川の変遷・流域等の説明。 (3) アカミミガメ等を捕獲するため仕掛けていたモンドリを引き上げたが何も掛かっておらず。外来種をすべて駆除することは不可能で在来種とうまく共存していくことが大事との説明。 (4) 熊手竹竿を使った清掃体験。 11:15 終了</p>	
<p>参加対象</p>	<p>市民(小学生以下は保護者同伴)</p>	
<p>参加人数</p>	<p>一般参加15名(大人9名、小学生6名) スタッフ14名(会員12名、市職員2名) 計29名</p>	
		
<p>カダヤシとメダカの違いを学習</p>	<p>何がいるのかな?</p>	<p>講師の説明を聞きながら歩きます</p>
		
<p>清掃活動を体験しました</p>	<p>全員で記念撮影</p>	<p>缶バッジをプレゼント</p>
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>天候に恵まれ、事故等なく予定どおりに開催できた。参加者からは、「大津川について知らない事が多かった」、「カダヤシやアメリカザリガニなど、たくさん学べて楽しかった」といった感想が寄せられた。</p>	

企画名	竹炭・華炭を焼こう～間伐した竹や木の実を使って～	
実施団体	団体名 栗野の森の会 問合せ先 代表 小出 達雄 TEL: 090-6309-4379 Email: tatutojun@ozzio.jp	
目的	森を侵食する竹を間伐し、松ぼっくりや木の実とともに蒸し焼きにして炭をつくる。出来上がった炭はかごに飾って持ち帰り、森林保全活動の大切さを伝える。	
日時	2025年1月25日(土) 13:00～15:15 栗野地区公園中央口付近の原っぱ	
プログラム・概要・ルート等	12:30 スタッフ集合 13:00 参加者集合 名簿確認 主催者挨拶 栗野の森の説明 班分け(4班) 13:15 作り方の説明の後、各班にスタッフ2名が付き開始。一斗缶2缶に燃料の落ち枝に火をおこし、その上に炭材を入れた菓子缶を乗せ、蒸し焼きにする。 15:00 出来上がった炭をかごに飾る。 15:15 終了。主催者、環境課挨拶。 各自かごに飾った炭を持ち帰る。 炭材 マダケ・モミジバフウ・クヌギ・クロマツ・ヤブツバキ	
参加対象	鎌ヶ谷市民(小学生以下は保護者同伴)	
参加人数	一般参加18名(大人13名、小学生4名、幼児1名) スタッフ11名(会員10名、市環境課職員1名) 計29名	
		
森についてレクチャー	本日のメニュー	上手に切れるかな
		
どんどん燃やすよ	煙が目にしみます	きれいな炭ができました
参加者や実施団体の感想	当日は朝方降雨があり開催が心配されたが、多少足元が悪かったものの怪我等なく予定どおりのスケジュールで開催できた。炭焼きは各班が子供を含め、協力し合ってきれいな炭を完成させていた。参加者からは「炭づくりについて学べた」、「よい経験になった」、「栗野の森を知ることができた」といった感想が聞かれた。	

<p>企画名</p>	<p align="center">『めざせ！水草バスターズ』 ～船からナガエツルノゲイトウの駆除作業を見よう in 手賀沼～</p>							
<p>実施団体</p>	<p>団体名 白井環境フォーラム実行委員会 問合せ先 白井環境フォーラム実行委員会事務局 TEL: 047-401-5409 Email:kankyout@city.shiroi.chiba.jp</p>							
<p>目的</p>	<p>ナガエツルノゲイトウ等外来水生植物の繁茂状況を知ってもらい、未来の水草バスターズを育成するとともに、手賀沼の水環境を改善する人材育成のきっかけとする。</p>							
<p>日時</p>	<p>2024年7月15日（月・祝）9:00～15:00</p>							
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>共催 下手賀沼水環境保全事業実行委員会 午前：今井3号橋で金山落・下手賀沼の状況説明（講師：興津功氏） 手賀川でナガエツルノゲイトウ等の駆除作業見学（説明：セイレイ興産山本氏） 遊覧船で手賀沼船上見学（ナガエツルノゲイトウの侵入経路、繁茂状況等） 午後：我孫子市生涯学習センターで座学 ・デジタル教材（美しい手賀沼を愛する市民の連合会作成）視聴 ・手賀沼流域のナガエツルノゲイトウの繁茂状況と千葉県による駆除事業の概要について（講師：田口雄己氏千葉県水質保全課） ・下手賀沼・金山落の現状について（講師：興津功氏）下手賀沼水環境保全事業実行委員会による防除活動と今年度の取り組みについて（説明：実行委員会代表秋井邦夫氏） ・国営総合農地防災事業について（説明：NPO 法人しろい環境塾理事長渡邊康夫氏）</p>							
<p>参加対象</p>	<p>一般市民（中学生以上）</p>							
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 25名（大人18名、高校6名、大学1名） スタッフ 8名（会員6名、講師2名） 計33名</p>							
<table border="0" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td data-bbox="193 1205 579 1529"> <p>金山落・下手賀沼の状況説明</p>  </td> <td data-bbox="608 1205 994 1529"> <p>手賀川の駆除作業見学</p>  </td> <td data-bbox="1023 1205 1409 1529"> <p>船上観察</p>  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="193 1547 579 1872"> <p>船内での説明（手賀沼の容積）</p>  </td> <td data-bbox="608 1547 994 1872"> <p>参加者集合写真</p>  </td> <td data-bbox="1023 1547 1409 1872"> <p>座学</p>  </td> </tr> </table>			<p>金山落・下手賀沼の状況説明</p> 	<p>手賀川の駆除作業見学</p> 	<p>船上観察</p> 	<p>船内での説明（手賀沼の容積）</p> 	<p>参加者集合写真</p> 	<p>座学</p> 
<p>金山落・下手賀沼の状況説明</p> 	<p>手賀川の駆除作業見学</p> 	<p>船上観察</p> 						
<p>船内での説明（手賀沼の容積）</p> 	<p>参加者集合写真</p> 	<p>座学</p> 						
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後活動などにもっと参加していきたい。 ・珍しい体験ができた外来種などの問題は自身には関係ないと思っていたが「水草による水路内の問題がある」とは知らなかった。これらの問題についてもっと知りたい。 ・白井の環境問題についてとても勉強になった。 ・ナガエツルノゲイトウの大繁茂の状況が船上からは遠目であったため、陸上から大群落が見える高野山新田の緑道からの見学を入れてもよかったかと思う。 							

企画名	美しい下手賀沼の景観復活！ 下手賀沼の谷津田の稲わらを使って「しめ縄づくり」
実施団体	団体名 NPO 法人しろい環境塾 問合せ先 NPO 法人しろい環境塾 担当者名 興津 功 TEL:047(404)3298 Email: shiroikankyojuku@kce.biglobe.ne.jp ホームページ: http://www.kankyojuku.jp/
目的	管理する水田の稲わらを使ってしめ縄をつくり豊かな自然を守る啓発をはかる
日時・場所	2024年11月30日(土) 9:30~11:30
プログラム・概要・ルート等	9:30 集合 しろい環境塾ベースキャンプ 9:35 開会 理事長挨拶 講師紹介 9:45 しめ縄づくり開始 11:00 しめ縄完成片付け 11:25 しめ縄披露 振り返り 11:30 閉会 理事長挨拶
募集対象	一般市民
募集人数	一般参加 14名(大人7名、小学7名) 会員スタッフ 5名(会員4名、講師1名)



稲わらの紹介



3つに分けた藁をひねります



1本のしめ縄にまとめます



しめ縄が完成しました



しめ縄に紙垂を付け、正月飾りをつけて玄関に飾ります



参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・初めは難しそうと思いましたが、1時間ほどでできて良かった。家で飾りを工夫して玄関に飾ります。来年も作りたいです。 ・田んぼの学校でお米作りを体験しましたが、捨てられてしまうかと思った稲藁がお正月には、しめ飾りにする昔の人の知恵のすばらしさを感じました。
-------------	--

<p>企画名</p>	<p>手賀沼船上親子観察会</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 印西 水と暮らしを守る会 問合せ先 竹内順子 TEL : 090-3907-8355 Email : inzaimizukura@yahoo.co.jp</p>
<p>目的</p>	<p>手賀沼流域の川を船でめぐり、豊かな生態系にふれる。また、中央公民館で私たちの飲み水はどこから来て、どこへ流れて行くのか、また手賀沼と流域に繁茂している外来水生植物がどのような問題を及ぼしているかを学ぶ。</p>
<p>日時</p>	<p>2024年7月27日(土) 10:00~12:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>※印西市立中央公民館共催事業、協力NPO法人いんざい水の郷ネットワーク 集合 印西市中央公民館 1階 ロビー 9:50 開会 挨拶、スケジュール、注意事項説明 10:00 ①六軒川、弁天川、手賀川を船で巡る自然観察 (担当 NPO 法人いんざい水の郷ネットワーク) ②公民館視聴覚室での手賀沼周辺の環境学習 (担当 印西 水と暮らしを守る会) ・「私たちの飲み水、捨て水」を学ぶ。 ・ワークショップ「水を汚す原因は？」「家庭のどこから汚れた水を出しているか？」 ・「手賀沼と流域の外来水生植物」について学ぶ。</p>
<p>参加対象</p>	<p>市内在住の小学生とその保護者</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般10名(大人5名、小学生名)、スタッフ(会員3名、中央公民館1名)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="175 1137 582 1438"> </div> <div data-bbox="598 1137 997 1438"> </div> <div data-bbox="1013 1137 1428 1438"> </div> </div> <p>弁天川→手賀川→下手賀川の川めぐり 家庭のどこからどんな汚れを出しているかな？汚さないようにするには？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="175 1505 582 1809"> </div> <div data-bbox="598 1505 997 1809"> </div> <div data-bbox="1013 1505 1428 1809"> </div> </div> <p>いろんな意見ができました お皿の汚れそのまま洗い流すと？ 外来水草が手賀沼と流域に繁茂しているよ</p>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>(みんなから出た意見～水環境を守るために) ◆汚れたお皿はトイレットペーパーやボロ布で拭き取る。◆シャンプーなどは、使い過ぎない。◆油は流さない。◆廃食油はペットボトルに入れて印西市が拠点回収しているところに出す。◆洗車はできる限り、ガソリンスタンドで。 (実施団体より) 私たちの家庭から流す水が沼や川を汚していることに気づき、改善するにはどうしたらよいか、ワークショップを通じて、親子で日頃の生活を振り返り見直す良い機会となったようだ。</p>